

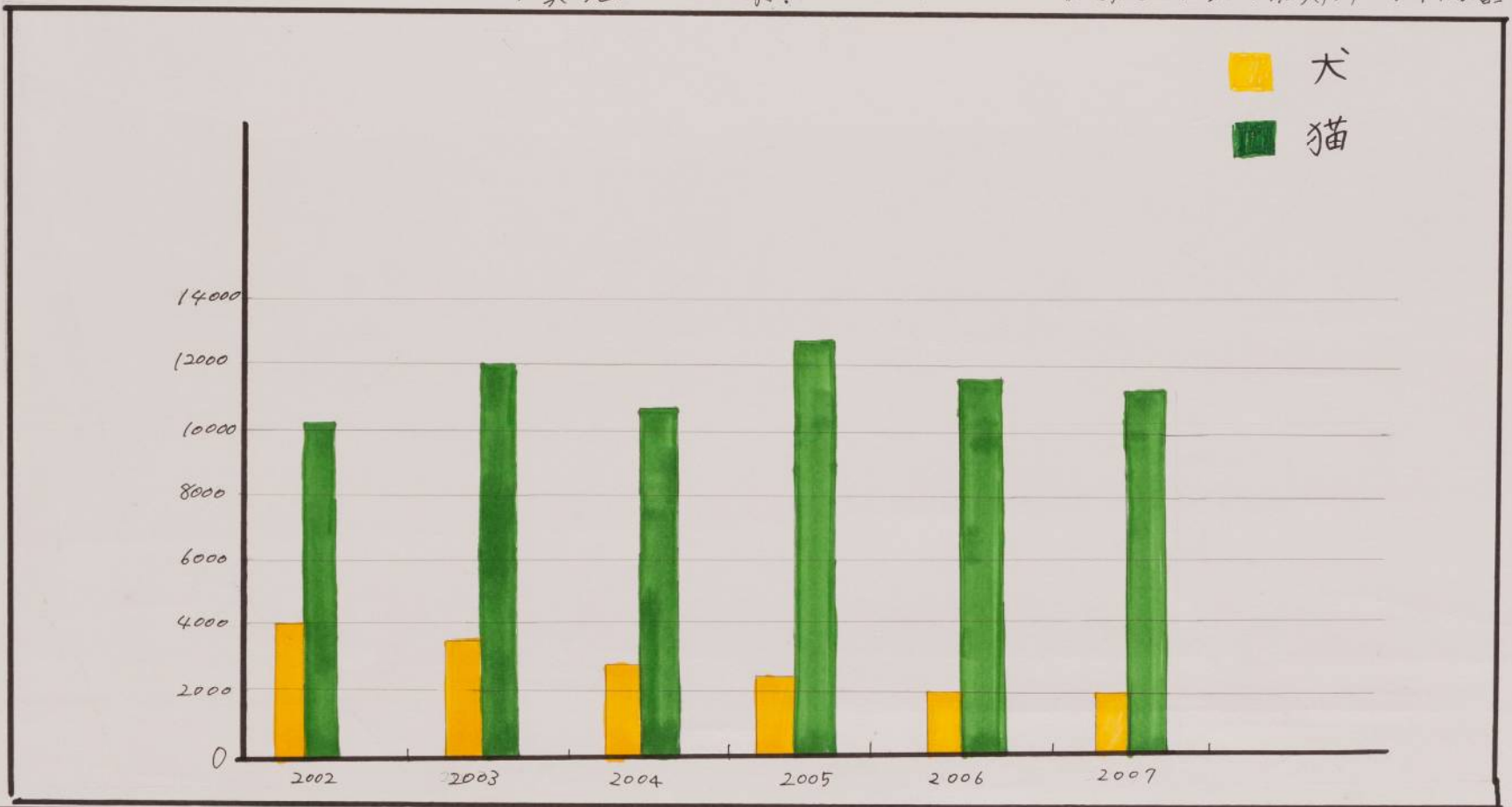
# 犬猫 殺処分 分の現状



毎年30万匹以上の命が消えている

平成19年度の犬殺処分数は、100,963万匹、猫殺処分数は、209,494万匹  
 犬猫合計は、310,457匹にのぼります。日に850匹、約100秒に1匹の犬や猫が殺されてい  
 ます。どうして沢山の犬猫が殺処分されるのでしょうか？  
 野良犬や野良猫は繁殖を繰り返してペットとして飼っていた犬や猫は安易な理由で道端や公園に捨てられ  
 彼らの行く先は野良犬や野良猫として生きていければまだ救いはあるのかもしれませんが、たくさんの野良猫  
 や野良犬は事故や病気で死んでしまったり多くは人間の手により保健所へ連れて行かれ数日間命たしい壁と床  
 の部屋で抑留された後、殺処分されます。犬の殺処分数は、1974年から減少傾向にありましたが  
 猫の殺処分数は横ばい傾向にあります。年間30万匹を超える殺処分数を減少傾向させる為には、猫殺処  
 数を減らすことが重要な課題となっております。

出典「地球生物会議 ALIVE 平成14-19年度片反全国動物行政アンケート結果報告書」



## 定時定点回収

一部の自治体では、ある決まった日時、決まった  
 場所で、野良猫、飼えなくなった犬や猫を  
 粗大ゴミのように回収する定時定点回収を  
 行っております。もちろん、回収された犬や猫は  
 保健所に連れて行かれ不幸な最期を迎えます。

## 焼却処分

ガス殺された犬や猫はガス室からそのまま機械  
 的に焼却炉に落ちた後焼却されます。子犬や子猫は  
 "息絶えたいまま"焼却される場合もあります。焼却され  
 た遺体の多くは産業廃棄物として埋棄されてしま  
 います。また一部の自治体では、袋詰めした遺体を  
 焼却炉所裏に何年も放置しています。

## 殺処分方法

一部の自治体では、動物に苦痛や苦しみを与えるだけではない  
 方法で殺処分を行い、遺体を焼却してしまったり、ほとんどの  
 自治体で行われている殺処分方法は二酸化炭素(CO2)による  
 ガス殺です。このCO2ガス殺は窒息死とは性質の異なる殺処分  
 方法で、特に子犬や子猫に呼吸器が小さく、死に至る前に  
 焼却されている可能性がります。

## 感想

私は、これを書いている時でもかたくなになりました。  
 犬も猫もどうしてこんなに殺されなくないといけないのだろう  
 と思います。ペットとして飼っていたのに、犬も命はのび  
 この世にうまれてきたのにどうしてペットを捨てるのかは  
 かんたんにペットを殺してしまうのか  
 そう考えるとかなしくなりました。  
 飼うならば最後までせまに飼ってほしいです。

かえで支援学校  
 分教室

三科理々